

鹿児島県霧島アートの森 2026 年度特別企画展 落合陽一 | 天孫帰るってよ？

2026 年 7 月 11 日 (土) - 9 月 23 日 (水・祝)



PRESS RELEASE 2026.6.11

「天孫帰るってよ? : まるさんかくしかくの印影鏡 父母の姿をも百年の後に残す貴重な術 だったが やっぱり土器だね ドキドキだね 火山がどっかーん ホモハビルスから数えて 10 回くらいは噴火してるんじゃないのーの さよならホモサピエンスこれまでありがとう」



展覧会メインビジュアル デザイン：中島亮二

企画趣旨

メディアアーティスト・研究者として国内外で多彩な活動を展開する落合陽一の個展を開催します。

2015 年に提唱した「計算機自然 | デジタルネイチャー」の概念を軸に、落合の多岐にわたる活動と思想を総合的に紹介するものとなります。大阪・関西万博の「null?」を経て、神話と地質学、古代と未来、物質とデジタル、東洋と西洋などの二項対立を超え、天孫降臨の地・火山と縄文人の記憶を宿す鹿児島県霧島アートの森にて、より重層的な世界観が具現化されます。

本展は、10 年に及ぶ探求の集大成であり、過去・現在・未来を結び、人間とテクノロジー、物質と情報、自然と人工物の新たな関係を模索する公立美術館での初個展となります。

作家紹介 落合陽一

メディアアーティスト。1987 年生まれ、2010 年ごろより作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学教授、東京大学准教授、2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）テーマ事業プロデューサー。2016 年 Prix Ars Electronica 荣誉賞、EU より STARTS Prize 受賞、文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品多数。

主な個展として「日下部民藝館特別展」岐阜 2021-2025、「昼夜の相代も神仏：鯨丸・鰻ドラゴン」東京・Brillia Art Gallery 2024 など。常設展として「計算機と自然、計算機の自然」日本科学未来館 2019。その他の展示として「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」北九州市立いのちのたび博物館 2021、「日伯外交関係樹立 130 周年『アンティポード、はるかなきみへ』展」サンパウロ 2025、「ミッション∞インフィニティ | 宇宙 + 量子 + 芸術」東京都現代美術館 2026 など多数出展。さまざまな分野とのコラボレーションも手掛ける。

* 参考 URL [落合陽一公式ホームページ] <https://yoichiochiai.com>



展示のみどころ

1 活動10年の総括

本展は、2015年に提唱したコンセプト「計算機自然 | デジタルネイチャー」から現在に至るまで、作家活動の最初期10年を総括するかのよう、重要なクロニクルを含め、展示室（アートホール）の中を回遊するうちに、アーティストのこれまでと現在を包括的に体感することができる展示として構成されています。

2 独創的な展示空間

会場周辺は、「天孫降臨」の聖地や活発な火山活動が続く霧島連山、約10,600年前の上野原遺跡に代表される縄文文化で知られています。伝統工芸や、写真史上にも重要な印影鏡（ダゲレオタイプ）の要素を加え、神々の宴にちなんだ展示や写真作品で構成された、諧謔味（かいぎやくみ）ある空間が創出されます。

3 地域連携と創造性

地方での大規模なテクノロジーアート展は、文化資源や観光の拠点としての価値を高め、伝統の現代的な再解釈や継承の新たなモデルを示す可能性を持っています。本展は、地域にあって最先端の芸術・技術に触れる貴重な機会となり、創造的な次世代の人材育成や地域のアイデンティティ形成に寄与します。

関連事業

- 1 オープニングセレモニー、対談（落合陽一×河口洋一郎）[7/11（土）14:30～ 場所：多目的スペース]
- 2 null²公式長編記録映画「さようなら、ホモサピエンス」上映会 [8/25（火）13:30 受付開始 14:30 上映
会場：みやまコンセル *参加はこちら <https://www.sakuratour.co.jp/events/ochiai-2026/movie>]
- 3 学芸員によるギャラリートーク [8/2（日）・8/23（日）・9/6（日）14:00～]
- 4 関連グッズ等の販売

展覧会概要

展覧会名	落合陽一 天孫帰るってよ？
会期	2026年7月11日（土）～9月23日（水・祝）
休館日	月曜日休園 [7/21（火）は休園、7/20（月）・8/10（月）・9/21（月）は開園]
開館時間	9:00～17:00 [7/20～8/31の土・日・祝日は19:00まで、入園は閉園の30分前まで]
観覧料	一般1,200(1,000)円／高大生800(600)円／小中生600(400)円 *（ ）内は前売りまたは20人以上の団体料金
会場	鹿児島県霧島アートの森 アートホール
主催	鹿児島県文化振興財団／南日本新聞社／MBC 南日本放送／KTS 鹿児島テレビ
特別協賛	トヨタカローラ鹿児島株式会社／株式会社久保石油／太陽ガス株式会社
特別協力	株式会社セイビ堂／カリモク家具株式会社／ヤマト運輸株式会社
協賛	株式会社明興テクノス／濱田酒造株式会社
協力	湧水町／霧島山麓湧水町観光協会／鹿児島第一交通株式会社・第一交通株式会社／株式会社島津興業／株式会社鹿児島銀行／株式会社南九州ファミリーマート／株式会社湧水町おこしエネルギー
制作協力	日置市／霧島神宮／Craft x Tech Tohoku Project (Tangent)／郡山八幡神社／特定非営利活動法人 ACT, JT (理事長 野村 萬)／高橋龍太郎コレクション／株式会社山翠舎／十八番館／SUNAKI Inc.／徳光軒／天孫降臨霧島九面太鼓保存会／日置島津家・吉富山大乗寺跡管理人 西郷隆文／Gallery & Restaurant 舞台裏
企画協力	大木 彩子（ジセカイ株式会社）
ゲストキュレーター	森山 朋絵（東京都現代美術館学芸員）

広報用図版 ※すべて参考図版

広報用図版の利用は、展覧会の広報・紹介を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内の使用に限ります。掲載を御希望の場合は、下記の貸出条件を御確認の上、必要な記載項目とあわせて、図版番号をメールにて（press@open-air-museum.org）宛に御連絡ください。

記載項目 御社名／御担当者名／貴媒体名（ジャンル）／発売・放送予定日／希望する図版番号

貸出条件

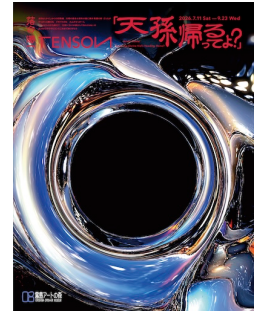
- 画像には作品情報（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト等）の併記をお願いします。
- 画像のトリミング、文字載せ、色彩変更、編集その他の改変は原則できません。
- 記事掲載前に校正原稿をお送りください。また、記事の掲載後には掲載誌、ウェブサイト URL、DVD、CD 等をお送りください。
- 記事の転載や貸出画像データの二次使用はお断りいたします。使用後は必ずデータを削除してください。



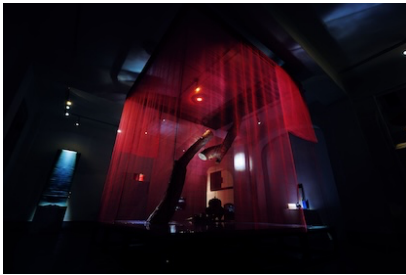
1 メインビジュアル



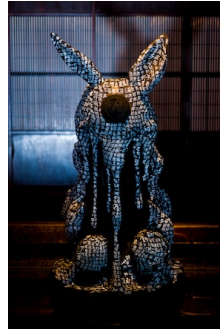
2 メインビジュアル



3 メインビジュアル



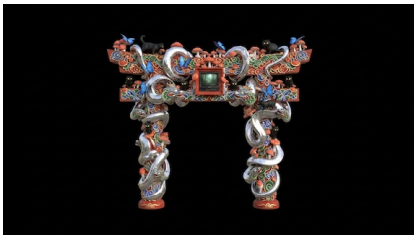
4 《ヌベルニ庵》 2024年



5 《象徴と変転-ルエ(鶴)》 2025年



6 《鰻龍(うなぎドラゴン)》 2024年



7 《新作イメージ》 2026年



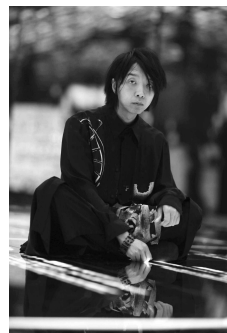
8 《借景、波の物象化 #5》 2018年



9 《コロイドディスプレイ》 2012年



10 《レトロロブ》 2016年



11 ポートレイト (クレジットなし)



12 チラシ

【お問い合わせ】

鹿児島県霧島アートの森 総務課 庄屋
〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場 6340 番地 220
Tel 0995-74-5945 (直通)
Fax 0995-74-2545
E-mail : press@open-air-museum.org
URL : <https://open-air-museum.org>